

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 5月 11日

事業所名

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	活動内容に合わせて広さや使い方を工夫している	
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	配置基準は満たしており、より充実した支援提供出来るようシフトを工夫している	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	完全バリアフリーではないが常に見守り安全を確保している	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	労務士からアドバイスをいただく	職員会議等話し合いの機会を多くもつ
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	結果を全スタッフで共有し改善点等を話し合い安心して過ごせる場所の提供に努めている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	ホームページ等で公開している	全職員への周知に努める
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	14%	0%		第三者委員会の設置には至っていないが連携している機関や有識者からの評価をいただく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	嘱託医、スタッフによる講習会、勉強会を行なっている	積極的な参加を促し職員全員のスキルアップにつとめる
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	独自のアセスメントシートを作成し面談や電話等で情報収集を行なっている	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	86%	14%	独自のアセスメントツールを使用し個々の特性や状況をもとに作成している	全職員への周知に努める
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	保育士を中心に行なっている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	個々の特性や状況を考慮しプログラムを作成している	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	長期休暇時は季節を考慮してイベントを提供している。	長期休暇はみんなで作れる課題、個人の課題設定をする
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	個々の特性を十分に理解し個別と集団の必要性を考慮したうえで作成している	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	朝ミーティングを行なっている。参加出来ない職員へは申し送りしている	前日に翌日の処置をホワイトボードに書き出しているため、療育内容と合わせて把握して行く
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	71%	29%	その日の支援について個々に振り返り記録を残している	全職員の参加は難しい為、常勤で振り返りを行ない他の職員へは申し送りノートでの周知に努める
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	個別、日誌等に記入し支援の検証、改善につなげている	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	6ヶ月毎のモニタリングを行なっている	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%	0%	ガイドラインに沿った支援の基本活動を意識して児童と関わっている		

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	児童発達管理責任者だけにこだわらず状況に合わせ必要と考える当事者が参画している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	学校の年間計画・行事予定等を把握しながら保護者等との連携を密にし連絡調整に努めている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	100%	0%	主治医から医療連携情報指示書をお願いし、必要に応じて連絡をとっている	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	83%	17%		必要に応じて就学前の情報を取得し個別支援計画に取り入れていく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%		現在該当児童はいないが積極的に情報提供を行ないスムーズに事業所を移行できるように配慮する
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	60%	40%		専門機関が開催する研修には積極的に参加し職員のスキルアップに努める
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	100%		コロナの影響を考慮しながら積極的に機会をもっていく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	17%	83%		現在参加出来ていないが、コロナの影響を考慮しながら機会をもっていく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	連絡帳や送迎時の申し送り等で情報交換、共有を行なっている	
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	83%	17%		コロナ収束後には積極的に機会をもっていく
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時に説明を行なっている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	悩みや困り事等の相談があった場合は寄り添いながら傾聴や助言を行なっている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%	夏祭りやクリスマス会など。保護者参加のイベント時に保護者連携を支援に努めていた	コロナの影響で自粛しているがコロナ収束後には開催を検討、実施を目指す
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	いつでも相談、申し入れが出来るようSNSをつなぎ対応している。具体的な内容は電話や面談にて対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	毎月のおたよりや必要に応じてお知らせを発行している	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	書類関係は鍵付き書庫で管理を行ない、写真の掲載については書面で保護者に確認を行なっている	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	個々に合わせた意思疎通、情報伝達に努めている	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	43%	57%	以前は見学に着いていただくなど、声かけを行なっていた	コロナ収束後には積極的に機会をもっていく

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	定期的にマニュアルの見直しを行ない玄関近くでいつでも確認出来るようにしている	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	86%	14%	年間計画に沿って行なっている	昨年はコロナで消防署の方に着いていただいて行なう訓練は出来なかったが高石市の総合避難訓練に参加した
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	外部研修への参加と施設内でも研修を行なっている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	支援計画への記載と職員間での検討、保護者への説明と確認同意のもと行なっている	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	医師からの指示書をいただき、保護者からも聞き取りを行ない対応している	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	全職員が積極的に取り組み事例検討を行なっている	